

山口県四代正八幡宮神社地を上関原発炉心地にされないよ う賛同署名にご協力をお願いします

「全国で最後の原発新規立地点」として狙われている山口県・上関原発建設計画は、賛否をめぐる攻防が二十一年を経過しました。

2003（平成 15）年春には、上関原発炉心予定地も含まれる地元四代正八幡宮の神社地の売却を拒否していた宮司が神社本庁によって解任され、新たに土地売却に積極的と見られる宮司が山口県神社庁より派遣されるという事態が起こっています。

このことに対して、地元四代地区の住民で四代正八幡宮の氏子有志の皆さんが、別記のとおり神社本庁、山口県神社庁に「もとの宮司さんが帰ってこられるよう、神社地が売り払われないよう」と願い、起ち上がっています。

私たちも、この地元氏子有志の皆さんの思いを受け止め、その願いがかなうよう、広範な賛同署名運動で「支援」していこうということになりました。

皆さんのご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

2003（平成 15）年 12 月

呼びかけ 原発に反対する上関町民の会
上関原発を建てさせない祝島島民の会
原発いらん！山口ネットワーク
原水爆禁止山口県民会議